

# BLM 運動を歴史的な文脈から考える

## ー ジョージ・フロイド事件と黒人人種差別問題 ー

**開催日時：**2020 年 7 月 1 日（水）14 時 50 分～16 時 20 分

**参加方法：**Zoom にて開催します

**講師：**黒崎真 先生（本学英米語学科教授）

**司会進行：**阪田恭代 先生（本学国際コミュニケーション学科教授）

**主催：**グローバル・コミュニケーション研究所

今年の 5 月末に米国ミネソタ州で黒人男性ジョージ・フロイドさんが白人警察官に首を押さえつけられ亡くなるという痛ましい事件がおきました。この事件を機に、警察の暴力的な取り締まりやトランプ政権の強権的で人種差別的な対応が大きな問題となり、人種差別に反対する政治デモや集会が米国のみならず世界各国へと広がりを見せています。

このように政治運動が活発化した原因はどこにあるのでしょうか？ そこには、歴史的に形成された人種差別という根深い問題が存在しています。今回は黒人人種差別問題の専門家のお話を聞きながら、皆さんでこの問題についてじっくりと考え、話し合ってみましょう。